

## 夕暮れ時の交通事故防止

■**運転手の皆さんへ**  
**ライトの早め点灯**  
 ▼ライトの早め点灯は、ドライバーからの視認性を高める効果があるほか、周りの車両や歩行者に自車の存在を知らせる効果があります。夕方4時にはライトを点灯しましょう。  
 ▼夜間は原則上向きライト

■**歩行者の皆さんへ**  
**反射材用品などの活用**  
 ▼夕暮れ時の外出は明るい色の服を着用し、反射材やLEDライトなどを足や腕などに身に付け、周囲に自分の存在をしっかりとアピールしましょう。  
**止まる・見る・待つの実践**  
 ▼道路を横断する場合は、必ず止まり、車が近づいていないか左右をよく見ましょう。車が近づいていたら、待ちましょう。

# 交番だより

警察署からの安心安全に関する情報を皆さんにお届けします。

金ケ崎交番 (☎44-5227) 永岡駐在所 (☎44-3310)

(ハイビーム)で、危険を早期に発見しましょう。

横断歩道・チェック・ストップ運動

▼横断歩道の手前では、歩行者がいらないか確認(チェック)し、横断しようとしている歩行者や横断中の歩行者がいる場合は必ず停止(ストップ)しましょう。

### 侵入窃盗被害をなくすために

今年度も金ケ崎町は、奥州警察署より「鍵かけモデル地区」に指定されています。泥棒の被害に遭った人の多くが、鍵を掛けずに被害に遭っています。外出時だけでなく、在宅時も玄関、窓など全てに鍵を掛けましょう。

# 子育て広場

子育て支援課 ☎44-4611 FAX 44-4337 e-mail: kosodate@town.kanegasaki.wate.jp

子育て支援課からのお知らせ

## 11月は児童虐待防止推進月間です!

家族や学校、地域など社会全般において、児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう、各地で積極的な広報・啓発活動が行われます。町でも、虐待防止推進月間にあわせ、役場庁舎1階エントランスホールにオレンジリボンツリーを設置予定です。児童虐待防止の象徴であるオレンジリボンは、子どもたちの明るい未来を表すシンボルマークです。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。▼児童相談所全国共通ダイヤル ☎189 (いちばやく)

## ～子育て応援ガイド～ 里親になりませんか? 一里親家庭を募集しています

県内には様々な理由から家庭で暮らすことができなくなり、温かい家庭を待ち望んでいる子どもたちがたくさんいます。そのような子どもたちを自宅に迎え入れ、一緒に生活していくのが里親です。里親制度のことを詳しく知りたいなど興味をお持ちの方はご連絡ください。  
 ☎ 岩手県一関児童相談所 (☎0191-21-0560、☎021-0027 一関市竹山町5-28)



QRコードはこちら

## こども救急ガイドブックについて

岩手県では、子どもの具合が悪くなった時に活用できる「こども救急ガイドブック」を作成しました。発熱・けいれん・下痢・嘔吐などの症状や、誤飲・やけどなどの事故に対する対処法と病院受診の目安が掲載されています。日頃から確認し、緊急時の対応にお役立てください。岩手県のホームページから閲覧できるほか、QRコードからも閲覧できます。

# 図書館だより

町立図書館 ☎41-1900 FAX 44-5661 金ケ崎町西根西地藏野5 開館時間: 10:00 ~ 18:00

図書館からのお知らせ

### information

- ▶**読書の秋「読書週間」が始まります**  
 10月27日(火)～11月9日(月)は読書週間。ことしの標語は「ラストページまで駆け抜けて」。当館でも「秋のTown図書館」として、金ケ崎に関連する、次の企画を集中開催しています。
- 1 Town企画展「トヨタの仕事」
  - 2 一般向け企画展「つながり 相似する エミリーと賢治の世界」
  - 3 子ども向け企画展「語り継ぐ金ケ崎」
  - 4 平谷美樹氏新聞連載「大宮人は如何にか言ふらむ」掲示コーナー
  - 5 特別展示「人気声優 桑島法子」
  - 6 まち 未来の本棚「SDGs・Society 5.0・ミライラボ・図書館2030」
- など、金ケ崎にちなんだ企画がいっぱい! 読書や展示を通じて、まちの魅力を再発見しませんか?

## ☆Town企画展 「トヨタの仕事 - 過去・現在・未来 -」

■日時 12月27日(日)まで  
 ■場所 入口コーナー  
 金ケ崎に立地する「世界のトヨタ」。その歴史や仕事術関連の図書を展示することで、世界トップクラスの効率化を果たしているトヨタの過去と現状をご紹介します。  
 また、自動車産業の未来について豊田社長の新しい未来戦略「Woven City = まちづくり」を解説します。約50冊の「トヨタ本」を一挙にご紹介しますので、この機会にぜひご覧ください。



# ふるさとへの風だより



在京金ケ崎人会 常任相談役 やごう ゆたか 矢郷 豊さん 東京都杉並区在住

金ケ崎町の皆さまこんにちは。新型コロナウイルス禍の中、今月開催予定であった、在京会主催『金ケ崎人の集い』を中止せざるを得なかったことは、無念の極みであり、決断した執行役員の方々の思いが伝わってきます。  
 例年四、五回はお邪魔していた金ケ崎町。今年は新年交賀会に参加したのみです。そのような折、在京会事務局から金ケ崎夏まつりが「リモート夏まつり」として開催され、応募された動画と、その審査結果を見ることができるとの案内がありました。パソコンの画面を通して、町長をはじめ

主催者の皆さん、参加された団体やグループの皆さんの中にも懐かしい顔を見つけて嬉しく思ったことでした。  
 会員の方々や地域の皆さんと親しく交流できる、町芸術文化祭も中止となりました。例年参加している展示作品展は、展示予定作品を11月初めに持ち寄り、DVDに収録し会員に配布すると連絡がありました。  
 収録してもらう作品を送らず持参しようか? 「東京からは来ないでください」と断られるか? 芸文協事務局にお伺いしようと思っっている現在です。  
 新型コロナウイルスの蔓延が終息し、一日も早く平常の生活に戻れるよう祈るばかりです。

## 例年と違って

在京金ケ崎人会からお願い  
 ★首都圏在住の金ケ崎出身の方々をご紹介します。  
 ☎ 事務局 (金澤志年)  
 ▶ ☎・FAX 044-711-2310  
 ▶ mail skshoukai@gmail.com